

「調査研究課題名」奥会津地域における地域福祉・保健・医療のDX

大学 (成果報告書作成者)	福島大学行政政策学類地域福祉ゼミナール 教授 鈴木典夫
自治体	①柳津町町民課保健衛生係 ②三島町町民課保健福祉係 ③金山町保健福祉課 ④昭和村保健福祉課保健係
その他関係者	奥会津在宅医療センター
(1) 調査研究の課題・背景	奥会津4町村（柳津町、三島町、金山町、昭和村）は、県内の高齢化率上位を占め、急激な人口減少、過疎化の問題も抱える地域となっている。しかし、課題を抱えつつも、地域住民が健康で長生きし、人生100年時代を最期まで地域で誇りをもって豊かに暮らすことができれば、住民にとって満足度・幸福度の高い地域になる。また、少子化も進んでいることから、子どもたちからの健康を見守れるまちづくりも考える。そのためには、地域課題の現状や生活課題を把握すること、子どもから高齢者までの医療と保健・福祉を最適な形で充実させ、また健康増進の方策について調査研究を行う。
(2) 令和5年度調査研究活動内容	・昨年度は、行政へのヒアリングによる施策から各町の特色を得て検討を進めました。住民側からのヒアリングあるいはアンケートも交え検討を進めました。ただし、昭和村は今年からの地域であったため、行政へのヒアリングを行いました。 ・昨年からのビジョンを深化させ、そのビジョンに向けてのコンセプトを「デザイン思考」を持って検討にあたりました。その際には、DXの発想を思料しました。 ・検討を進めるにあたり、各町村の福祉、医療、保健・健康増進、生活を考えるタスクチームを構成して進めました。 ・ヒアリングにあたっては、①高齢者への意見聴取 ②町村民活動への参加による参与観察 ③医療サービス利用者への医師・看護師と同行訪問を行いました。 ・福祉領域によらず、発想の拡がりを持つためDXについての学習も進めました。 ○DXに関する勉強会 5月12日 DX/スマートシティ学習会（外部講習会参加） 6月2日 事業開発・サービス開発学習会（講師を呼んでの特別講義） ○テーマに関するビジョンの深化・作成 10月～ ○調査票の作成 11月～ ○調査活動 11月17日 奥会津在宅医療センターの訪問診療に同行し患者さんへのヒアリング（三島・金山） 1月25日 三島町健康教室参与観察及び調査票調査 2月19日 三島町間方地区サロン参与観察及び調査票調査 2月22日・23日 昭和村保健福祉課ヒアリング、並びに三島・柳津町現地踏査 ○テーマに関する（仮）コンセプトの作成 2月～
(3) 令和5年度時点の結果	取り組みを通して、以下のビジョンをまとめました。 <u>Vision.1 顔を見知った医療</u> もしもの時を心配せずに安心して生活していくことができる地域です。 <u>Vision.2 得する保健・健康増進</u> 雪深くても、健康で生き生きと生活することができる地域です。 <u>Vision.3 つながりのある福祉</u> さまざまな年代、地域の人との関わりがあり、お互いに見守り合う地域です。 <u>Vision.4 前向きに暮らせる環境がある生活</u> 移動手段の有無に関わらず、必要なものが手に入り、行きたい場所へ行ける地域です。

(3) 令和5年度 時点の結果（続き）	また、取り組みを通して、仮ですが以下のコンセプトをまとめました。 ☐健康増進。家でできることをさがそう ☐健康づくりと地域経済の融合 ☐8020≧8025で、野菜もお肉も好きなものを食べて健康 ☐疾病予測から早期発見へ見える化 ☐仮想システムを使ったリアリティ交流 ☐アプリ使って選択できる生活に ☐温かみを失わないモバイルクリニック ☐安全な自家用車運用による移動や外出の多様化
(4) 提言または 今後の展開	・今年度は、町村民・診療患者の方々へのヒアリングを実施しましたが、まだ十分と言えないと考えており、来年度継続となれば年度当初は、引き続き住民との関わりからの調査を考えています。（特に金山町、柳津町） ・コンセプトについても（仮）としましたので、さらに検討を加えたいと考えています。 ・上記の取り組みから、いよいよ具体的な施策や取り組みのアイデア（コンテンツ）出しに取り組みたいと考えています。その際は、DXを思料し、また実装可能性も考慮した検討をしたいと考えています。ただし、本ゼミナールはどちらかと言えば「テクニカル（技術的）」なところで検討を図る点では未熟なところがあるため、その領域の助言等があればと思っています。